

教師用 指導案

1. テーマ・授業名

テーマ2 パラリンピックスポーツ

授 業 1 「パラリンピックスポーツについて学ぼう！」

2. 授業の目標

- ・さまざまなパラリンピックスポーツを知り、パラリンピックスポーツを身近に感じさせ、興味を持たせる。パラリンピックを応援したい、参加したい、他の人に紹介したい、という気持ちを培う。
- ・各パラリンピックスポーツが、障害の種類や程度にかかわらず、競技を楽しく安全に、公平に競うことができるように工夫されていることを知り、パラリンピックスポーツの意義を理解する。
- ・パラリンピックスポーツとの関わり方について意見を持つことができる。

3. 本時の位置づけ

- ・総合的な学習の「福祉」の授業での活用。
 - ・中学校では、道徳の「他者の理解」「共生社会」などの視点における事例学習として活用。
 - ・「体育理論」において、スポーツへの多様な関わり方、スポーツの文化的意義、国際的スポーツ大会の役割、人々を結びつけるスポーツ、などと結びつけ活用。
 - ・キャリア教育の一環としての活用。
- ※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

4. 指導の留意点、工夫点

- ・生徒の身近な話題や知っていることから結び付け、できるだけ興味が湧くようにする。
- ・パラリンピックスポーツで活躍している人や、パラリンピックスポーツで使われている用具なども紹介することで、より興味を引き出す。
- ・生徒が能動的に関わり、気づいたり考えたりする活動を取り入れる。
- ・ルールや用具を工夫することで、いろいろな人がスポーツに参加でき楽しめることに気づかせる。
- ・同じように、少しの工夫で様々な人が使いやすくなるなどの身近な例にも気づかせる。

5. 準備物

- ・授業用シート (2-1)
- ・教師用授業ガイド (2-1)
- ・生徒用ワークシート (2-1)
- ・映像資料：東京 2020 ダイジェスト「Tokyo 2020's Most Emotional Moments」



〈展開案〉※【 】内は経過時間

時間	学習活動（引き出したい生徒の言葉）	指導上の留意点・配慮事項（教師の活動）	準備物／教師参照物
導入 （10分） 【10分】 目安 映像：3分 個人ワーク：3分 発表：4分	【パラリンピックスポーツについて学ぼう！】		・授業用シート（2-1） ・教師用授業ガイド（2-1） ・生徒用ワークシート（2-1） ・映像資料：東京 2020 ダイジェスト 【教師参照】 ・教師用ハンドブック「パラリンピックスポーツとは」参照
	（1） 東京パラリンピックの映像を見て、「楽しそう」「面白そう」などの感想や「なんだろう？」という疑問を持つ。 ・映像を見る。 ・ワークシートの知っている競技に○を書く。	（1） 導入は以下に2つを例示するが、クラスの学習経験、パラリンピックの知識によって変えてよい。 ・[1-1] で、すでにこの映像を見ているクラスは見なくてもよい。時間がたっていたら、再度見せてもよい。 導入① すぐに映像を見せ「この映像は何？」と聞く展開。オリンピックに続いて行われたパラリンピックの映像であり、オリンピック同様に速かったり、カッコよかったりすることを伝え、これからの学習への興味関心を引き出す。 導入② 「パラリンピックについて知っていること」について発表させ、パラリンピックについて学ぶ姿勢をつくった後に、映像を見せる展開。 ・導入②の場合は、生徒の発表内容がよかったら、大いにほめ、さらに興味が広がるような問いかけをする。 ⇒「どうして知っているの？」 ⇒「どんな競技かな？」	
	（2） これからパラリンピックについて学ぼうという意識が高まる。 ・発表する。 「かっこいい」 「わくわくした」 ・パラリンピックの意義と価値を知る。	（2） ・板書をする、または、授業用シートを A3 サイズに印刷し、黒板に貼ると効果的である。 ・発表はさまざまなパラリンピックへの気持ちを取り上げたい。そして、パラリンピック学習に意欲を持たせる。 ・パラリンピックスポーツだけでなくパラリンピック全体についての発言でも否定はせず、教師が受け答えでうまく切り分ける。 ・発表を行った後、「パラリンピックの価値」について解説を行う。	

時 間	学習活動（引き出したい生徒の言葉）	指導上の留意点・配慮事項（教師の活動）	準備物／教師参照物
展開 (20分) 【30分】	<div>【クイズで知ろう！ パラリンピックスポーツ】</div> <p>クイズ大会をしながら、以下の4つの切り口から、パラリンピックスポーツに興味を持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 記録 2. 工夫 3. 用具 4. サポートする人 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートへの答えの記入は、状況を見て実施する。挙手でテンポよく進めてもよい。 ・どのクイズも写真をよく見せて、既知の学習事項なども取り上げることで、生徒の解答への思考を促す。 ・教師用授業ガイドの ＋アルファ情報 は、すべて伝えなくてもよい。また、単に伝えるのではなく、「どういった特徴があるのか」「何のためか」など、生徒を巻き込み、もっと調べたい、知りたいという気持ちにさせる。 ・教師が知らないことがあっても、「先生も知りたいから、一緒に調べていこう」と一緒に学んでいく姿勢を見せることで、答えは教師が教えてくれるものではなく、自分たちが調べたり考えたりして導き出すものだという事に気づかせる。 ・クイズを4つの切り口で行うことで、それぞれの視点で「より多くの人が活躍できる公平な機会」が与えられていることに気づかせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒用ワークシート (2-1) ・教師用授業ガイド (2-1) <p>【教師参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師用ハンドブック「パラリンピックスポーツとは」参照
まとめ (20分) 【50分】 目安 シート記入：10分 発表：8分 まとめ：2分	<div>【パラリンピックスポーツへの関わり方を考えてみよう】</div> <p>本時を通して得た知識とともに、まとめのテーマについて考えて、ワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに記入する。 ・発表する。 <p>「ガイドランナーに挑戦したい」 「英語を勉強して選手が国際大会に行くときに通訳者になりたい」 「パラリンピックスポーツの審判をしたい」 「義足の開発をするエンジニアになりたい」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな参加の形を知ることで、自分だったらどのようなことができるのかを考えさせる。 <p>〈助言例〉 「パラリンピアンを応援するためにどんなことができるかな？」 「日本に他国のパラリンピアンを招くのに、どのような準備が必要かな？」など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まとめのテーマを考えさせる際、クラスの状態に合わせて、グループディスカッション形式にするなど、工夫をしてもよい。 ・関わってみたい活動や、将来の職業との関連など、キャリア教育と連動して考えさせてもよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート (2-1) ・教師用授業ガイド (2-1) ・生徒用ワークシート (2-1)